

大規模国際スポーツイベントを活用した九州の産業競争力の強化について

【資料8-2】

2016年9月6日

九州・沖縄地方産業競争力協議会事務局

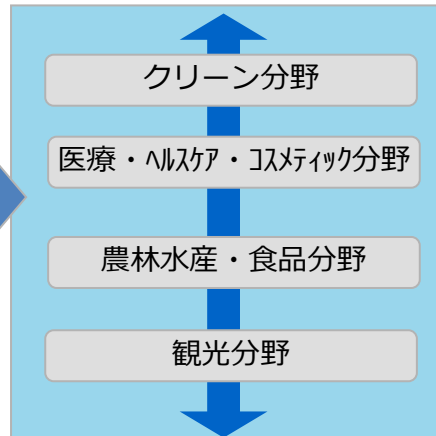
～民間主導の取組～

- 8月のリオ・オリンピック競技大会が閉会し、東京大会向けキックオフした。世界中から日本に注目が高まり、多くの外国人の来日が予想される。2020年に向けて大規模国際スポーツイベントが目白押し。関連受注の獲得に加え、九州の魅力を発信する絶好の「ショーケース」と成り得る。
- 熊本地震からの復旧・復興を実現しつつ、九州の産業競争力の強化に向けては、これらの機会をうまく活用して国内外の需要を積極的に獲りにいき、九州の「稼ぐ力」を高めて、しごとづくりにつなげることが重要。
- そこで、本協議会に民間を中心とした「大規模国際スポーツイベント活用分科会（仮）」を設置し、アース戦略の22プロジェクトの加速化、新たなビジネスの創出を図る。

【取組の方向性（イメージ）】

1. 九州の農林水産物・食品の消費・輸出のさらなる拡大
・選手村やキャンプ地への食材供給、輸出向け国際認証の取得、訪日客向けお土産需要取込 等
2. 九州発ものづくりの対外発信強化、新たな商品・サービスの展開
・九州のものづくりのPR、スポーツ関連ビジネスの創出、健康・ユニバーサル市場向け商品開発 等
3. インバウンド観光への対応加速化
・ラグビーW杯に照準を合わせた長期滞在者向けの取組充実 等
4. 海外とのビジネス交流の拡大
・キャンプ誘致国等とのビジネス交流
・九州の経営者等との関係構築、対日投資の誘致 等

《22プロジェクトを横断的に推進》



【今後の進め方】

既に、官民が連携して進めている「九州・沖縄地方産業競争力協議会」において、民間を中心に、オリパラ関連需要を見据えたアース戦略の取組を強化する。

＜九州・沖縄地方産業競争力協議会＞
(22プロジェクト)

連携 情報共有

経済界 推進団体 自治体等 国の機関

《連携・情報共有する機関・団体等》

九州の経済界、民間事業者
中央の経済界
(オリパラ等経済界協議会など)
内閣官房オリパラ事務局
ホストタウン自治体
九州観光推進機構
九州知事会（政策連合）など

民間主導による

新たなビジネスの創出・国内外需要の獲得

今後開催が予定される大規模国際スポーツイベント

2021年
世界水泳選手権大会（主会場：福岡市）

2019年
世界女子ハンドボール選手権（12月）
（主会場：熊本県）

2019年
ラグビーワールドカップ（9/20～11/2）
（主会場：福岡県・福岡市、大分県、熊本県・熊本市 など全国12会場）
※出場：日本代表 約10万人
※観客：約100万人（うち海外約4万人）

G7エール杯大会
（北九州市）
2016年5月1-2日
※開催済

2016年
第99回ライオンズクラブ国際大会（6/24～28）
（主会場：福岡市）※開催済
※出場：約119カ国・地域、約3.8万人（うち海外1.3万人）

九州の魅力を
海外に発信

販路開拓・輸出拡大
対日投資誘致

対外情報発信

事前キャンプ誘致
ホストタウン

地域産品の発掘・
ブラッシュアップ
文化プログラムの実施

インバウンド受入体制の整備



※出場：第99回ライオンズクラブ国際大会ホスト委員会ホームページ

2020年
東京オリンピック・パラリンピック
(7/24～8/9、8/25～9/6)
（主会場：東京都、事前キャンプ：全国各地）
※大会期間中の観客・スタッフ数：約1010万人
※出場：東京都立候補ファイナル

事前キャンプ

キックオフ・イベント

2016年（リオ大会後）
スポーツ・文化・ワールド・フォーラム（仮称）
（主会場：10/19京都、10/20～22東京）
・基調講演、国際イベント、官民WS、文化イベント
・世界経済フォーラムとの連携（スポーツ・文化）

